

第1四半期 連結損益計算書 (実績/前四半期)

科 目	前年同四半期 自 2006年4月1日 至 2006年6月30日	百分比	当 四 半 期 自 2007年4月1日 至 2007年6月30日	百分比	増 減 (△印減)	増減率
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
I. 売 上 高	73,375	100.0	75,737	100.0	2,361	3.2
テーマパーク事業	61,500	83.8	63,497	83.8	1,996	3.2
複合型商業施設事業	5,079	6.9	5,428	7.2	348	6.9
リテイル事業	4,027	5.5	3,684	4.9	△ 343	△ 8.5
その他の事業	2,766	3.8	3,126	4.1	359	13.0
II. 売 上 原 価	61,442	83.7	61,589	81.3	146	0.2
人件費	14,251		14,849		598	
諸経費	37,044		36,649		△ 395	
減価償却費	10,146		10,089		△ 56	
売 上 総 利 益	11,932	16.3	14,148	18.7	2,215	18.6
III. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	7,655	10.5	7,676	10.2	21	0.3
人件費	3,084		3,064		△ 20	
諸経費	4,155		4,265		109	
減価償却費	415		347		△ 68	
営 業 利 益	4,277	5.8	6,471	8.5	2,194	51.3
テーマパーク事業	4,526	6.2	5,942	7.8	1,415	31.3
複合型商業施設事業	△ 50	△ 0.1	267	0.4	318	-
リテイル事業	△ 381	△ 0.5	△ 212	△ 0.3	168	-
その他の事業	136	0.2	368	0.5	232	169.8
(消去ほか)	45	0.0	105	0.1	59	131.3
IV. 営 業 外 収 益	519	0.7	706	0.9	186	36.0
V. 営 業 外 費 用	1,498	2.0	1,430	1.8	△ 68	△ 4.6
経 常 利 益	3,297	4.5	5,747	7.6	2,449	74.3
税金等調整前四半期純利益	3,297	4.5	5,747	7.6	2,449	74.3
法人税等	1,696	2.3	2,508	3.3	811	47.8
少数株主利益	2	0.0	2	0.0	△ 0	△ 25.5
四 半 期 純 利 益	1,598	2.2	3,236	4.3	1,638	102.5

①
②
③
④

⑤

【営業利益 21億円の増 (51.3%増)】

I. 売上高 23億円の増 (3.2%増)

① テーマパーク事業	19億円の増
・ テーマパーク：入園者数の増、ゲスト1人当たり売上高の増など	20億円
② 複合型商業施設事業	3億円の増
・ ディズニーストア商品販売収入の増など	3億円
③ リテイル事業	3億円の減
・ ディズニーストア商品販売収入の減	
④ その他の事業	3億円の増
・ モノレール事業：運賃改定による収入の増	1億円

II. 売上原価 1億円の増 (0.2%増)

(1) OLC商品売上原価の増	3億円
(2) OLC飲食売上原価の増	3億円
(3) OLCエンターテイメント・ショー製作費の減	△3億円
(4) リテイル事業売上原価の減	△2億円

⑤ エンターテイメント・ショー出演者の
雇用契約変更に伴う諸経費から人件費への振替

テーマパーク関連情報

項 目	前年同期差異
入園者数	若干上回った
ゲスト1人当たり売上高	上回った
チケット収入 ※1	上回った
商品販売収入	ほぼ同様
飲食販売収入	若干上回った

※1 2006年9月1日にチケット料金改定を実施

ホテル客室稼働率

項 目	前年同期差異
東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ	ほぼ同様
ディズニーアンバサダーホテル ※2	上回った
パーム&ファウンテンテラスホテル	ほぼ同様

※2 2006年4月～7月に客室などの全面リニューアルを実施

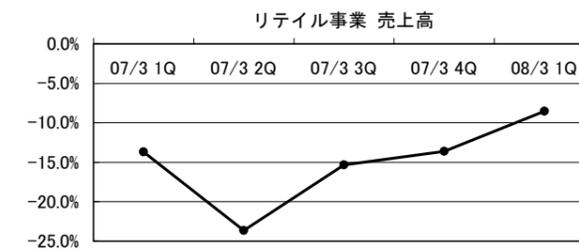
ディズニーストア関連情報

(下記【補足情報】参照)

項 目	前 年 同 期 差 異
既存店売上高	下回った
出退店状況	前期 4/1 52店舗 → 6/30 53店舗 当期 4/1 52店舗 → 6/30 52店舗

【補足情報】リテイル事業 (ディズニーストア)

・売上高 (四半期別 前年同期比の推移)



・コスト改善効果 1億円

店舗賃料、物流費、本社オフィス賃料、人件費などの減
※通期での改善効果は4億円を見込む

(参考) 業績予想 中間連結損益計算書 (予想/前中間期)

科 目	前中間期実績 自 2006年4月1日 至 2006年9月30日	百分比	当中間期予想 自 2007年4月1日 至 2007年9月30日	百分比	増 減 (△印減)	増減率
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売 上 高	160,551	100.0	162,090	100.0	1,538	1.0
テーマパーク事業	134,342	83.7	135,380	83.5	1,037	0.8
複合型商業施設事業	11,285	7.0	11,630	7.2	344	3.1
リテイル事業	8,458	5.3	7,850	4.8	△ 608	△ 7.2
その他の事業	6,465	4.0	7,230	4.5	764	11.8
営 業 利 益	11,828	7.4	12,380	7.6	551	4.7
テーマパーク事業	10,943	6.8	11,880	7.3	936	8.6
複合型商業施設事業	313	0.2	430	0.3	116	37.3
リテイル事業	△ 541	△ 0.3	△ 510	△ 0.3	30	-
その他の事業	985	0.6	430	0.3	△ 555	△ 56.4
経 常 利 益	9,884	6.2	10,300	6.4	415	4.2
中 間 純 利 益	5,342	3.3	5,940	3.7	597	11.2

【総括】

1. 第1四半期決算について

(1) 対前年同期

・当四半期は、テーマパーク事業において入園者数及びゲスト1人当たり売上高が増加した一方、エンターテイメント関連費用を抑制出来たことなどにより、前年同期と比べて増収増益となった。
・なお、リテイル事業においても、売上高の減少幅は縮小し、営業損失も費用構造改革により改善した。

(2) 対業績予想

・当四半期は、テーマパーク事業において売上高・営業利益ともに上回った。
(入園者数目標を前年同期より低く設定していたため、売上高・営業利益ともに対前年同期差異よりも上回った。)
・また、リテイル事業の業績も若干上回ったことや、10億円程度の費用が第2四半期以降へ時期ずれしていることなどから連結での売上高・営業利益は大幅に上回って推移した。

2. 中間期及び通期の業績予想について

・現時点では、上記の通り中間期・通期の業績予想に対してプラスとなっているものの、テーマパークの集客ボリュームが大きい第2四半期以降の天候リスクなどを踏まえて変更しない。